

入 選

子供と共に育つ庭

石川美穂様

入 選

「ママお花屋さんね」
トトロに出てくるメイのセリフを、親として聞く日が来るとは。

「しゅうかつく、収穫」
歌うようにつぶやきながら、咲いているオレンジの花を全部摘み取る我が子のまだ小さな手を、真剣な顔を眺める幸せを噛みしめたある日のできごとである。

おままごと用のバットに、摘んだいっぱいのオレンジ色を集め、観察した後は、大切に手に持っていたけれど、最後は色水になった。

小さい頃から植物が好きだった私だが、自宅には庭がなく、祖母や親戚が植物を色々育てているのを羨ましく思っていた。グミやキンカンなど、私のために育てた木のみを祖母の家に行くたびに楽しみにしていた記憶は、今でも私の宝物である。

月日は流れ、母になった私は、いつか子供と思い切りガーデニングがしたいと夢見ていた。産後落ち着いた頃、0歳の娘と共に育てる木が欲しいと思いついたら、とりあえず賃貸のベランダに、商店街の花屋で衝動買いたオリブの木を飾り、ジャスミンやサンスベリアなどをじわじわ集め始め、やはり庭があったら良いなど思いを募らせていた。コロナ渦の少し前、引越しを決め、緊急事態宣言などが出る前に住み始めた自宅の庭は、今年で3歳になる娘とほぼ同じ年の庭だ。特に外出自粛と、小さな子供の世話も相まって、庭で緑に触れ、土いじり

しながら、植物と子供の成長を感じつつ、四季を楽しめる贅沢さと、庭のお世話の奥深さに四苦八苦した1年だった。

ツリーのオリブも育てつつ、虫に驚いたり、水遊びしたり、追いかけてこしたりと庭を満喫している。

娘のお気に入りには「収穫作業」で、ブルーベリーやプチトマト、ハーブの収穫が楽しかったのか、1歳から「収穫」という単語を覚え、花が咲いていたら摘み、お花屋さんごっこをする。そんなある晴れた日の、コスモスの喜びの写真です。これからも、娘と庭を楽しみたい。



講評

お子さんと一緒に憧れだった庭での生活、とても素敵です。庭で遊ばなくてももったいないくらい、日の光がたくさん差し込む良い場所ですね。写真からでも、お子さんの楽しむ様子がキラキラして見えます。デッキやイスがあるのを見ると、日常的に育てる以外にも庭を楽しんでらっしゃるのが伝わってきました。

コロナ禍から家庭菜園の人気がますます高まっているので、食べられる植物もさまざまな種類が集めやすくなっているかもしれません。20〜30種も集めていらっしゃるのと、いっぱい収穫できて楽しそうですね。

たくさん植物に囲まれて、収穫や色水づくりを楽しむ時間は、きっとお子さんにとっても貴重な体験だと思います。特に、自分と一緒に育つオリブと庭には思い入れもひとしおに、大切に育てていくことができるのではないのでしょうか。

これからもご家族で、庭での楽しい時間をたくさん過ごしてください。

Green information

グリーン情報編集部